

令和4年度

仙台市小中学校児童生徒読書感想文コンクール応募要項

仙小教研 学校図書館部会
事務局 仙台市立湯元小学校

○ 応募について

(1) 区分

①課題図書

- ・課題図書については全国コンクールの募集要項を参照。巡回メール便で発送予定。
- ・低・中・高学年部で各4点の指定図書。同一部内における学年の指定はない。

②自由読書（自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションは問わない。）

※以下については対象外

- ・教科書 ・副読本 ・読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの
- ・雑誌（別冊付録を含む） ・パンフレット類
- ・日本語以外で書かれた図書および課題図書

※ただし課題図書であっても該当の学年以外であれば、自由読書として応募可。

(2) 出品数（昨年から変わっています。ご注意ください。）

各校9点まで（内訳：**各学年部**「課題」「自由」をそれぞれ1点含む、計3点以内とする。）

※各学年部から自由3点または課題3点の応募はできません。

(例)	低学年部（1・2年）	自由読書	1点	課題図書	2点	合計3点
	または	自由読書	2点	課題図書	1点	合計3点

(3) 用紙

原稿用紙を使用し、縦書きで自筆する。

(4) 字数

本文 小学校低学年部 : 本文 800字以内

小学校中・高学年部 : 本文 1200字以内

※題名、学校名、氏名は字数に数えない。(応募票及び欄外に書く)

※句読点、「」, (), 改行のための空白か所は字数とする。

(5) 留意点

- ①応募は日本語で書かれたものに限る。
- ②応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつの応募可。
- ③応募は個人のオリジナルで、未発表のものに限る。同一作品で、他のコンクールとの二重応募は不可。
- ④作品は自筆。コピー不可・ワープロソフトの使用不可（自筆不可能な場合は理由を添える。事前に事務局にご連絡ください。）
- ⑤作品は返却されない。
- ⑥入賞・入選作品の著作権・出版権は、主催者に帰属する。
※上位入賞者の作品は、読書感想文集「読書のとびら」に作品・学校名・氏名が掲載される。
また、宮城県審査会に出品するものとする。

<読書感想文の書き方のポイント>

- ①自分に合う本を選びましょう。どんどん読んでいくことができる本・感想が次々に頭の中に浮かんでくる本を選ぶといいです。
- ②「なぜその本を選んだのか」という本との出会いや、その本を読んだわけを長く書きすぎないように気をつけましょう。
- ③自分が体験したことだけを長く書くと、感想文ではなく生活文になってしまいます。主題（作品を書いた人が伝えたかったこと）に沿って読み取ったことをもとにして文を書きましょう。本の内容と関係する自分の体験を書く時は長くなりすぎないように気をつけましょう。
- ④構成メモを作るなどして、組み立てを考えてから書きましょう。
- ⑤あらすじだけにならないように、読書を通して学んだこと、考えたことを中心にして書きましょう。
- ⑥まとめの部分まで自分の力でがんばって書きましょう。また、文字は丁寧に書きましょう。
- ⑦敬体・常体の使い方を統一しましょう。また、話し言葉と書き言葉を区別しましょう。
- ⑧書き終わったら、何回か読み直してみましょう。間違っている字や抜けている字がないか自分で確認しましょう。
- ⑨原稿用紙の正しい使い方を学習するチャンスです。「」も1マスを使います。
- ⑩読書感想文に挑戦すると、「いつどんな本を読んだのか」「その時の自分はどんなふう感じたのか」ということが大切な記録として残ります。学年が変わってから、また大人になってから同じ本を読むと、感想が変わっていることがあります。令和4年の記念として、思い出として、ぜひ読書感想文に取り組んでみてください。

宮連小・中 学校図書館研究部会編集 『令和3年度 読書のとびら・読書のいずみ 第2集』が発行されています。読書感想文・読書感想画に取り組むに当たってのたくさんのヒントが掲載されています。ぜひ指導の際、参考にしてください。(学校生協取り扱い)